



《2022-2023年度主題》

国際会長 K・C・サミュエル(IND)  
 “Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT”  
 アジア太平洋地域会長 チェン・チ・ミン(TWN)  
 “Elegantly Change with New Era”  
 東日本区理事 佐藤 重良 (甲府21)  
 「未来に向けて今すぐ行動しよう」  
 湘南・沖縄部長 小松 仲史 (厚木)  
 「楽しく・元氣よく・前向きに」  
 クラブ会長 今城 高之  
 「楽しく、なにはさておき楽しく！」

2022-2023 クラブ役員	
会長	今城 高之
直前会長	辻 剛
副会長	
書記	岡田 美和
会計	横田 孝久

今月の聖句

「実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。」

(エフエソ 2・14, 16)

会長の一言

私達のクラブでは、従来より8月の本例会は休会とし、その代わりに10月初めに開催する You & I コンサート運営委員会のキックオフミーティングを兼ねた納涼会を行ってきました。地域の協力団体の代表の方々も参加し、それは楽しい夕べを過ごしておりました。

しかしながら、ここ2年ばかりはコロナ禍により本当に残念なことに、コンサートも中止、納涼会もなしで、今年の8月も何も無い月となりました。

一時は、コロナ感染拡大の勢いが治まってきたかのように見えたため、コンサート開催時期をずらして11月12日(土)と決めて準備を進めていますが、また、新たなコロナ株が見つかったり、全く先行きの見えない状況となっています。

新年度が始まって1.5か月が過ぎ、その間、湘南・沖縄部小松部長の公式訪問があったきりで、一つとしてプログラムが実施できていないことに、そろそろ焦りを覚えています。が、「無理をせず、できることを楽しくやる」を標榜している今期 “take it easy!” で参ります。

《巻頭メッセージ》 「みんな いっしょ」

岡田 美和

**先** 日、買い物に行くときのこと、道になり前の方からH子さんらしい人(軽い知的障がいがある30歳の人で、彼女が3・4歳のころ近くの公園で孫と砂場でよく遊びました。その後も、道で会い手を振ったり挨拶やおしゃべりをしてきました。「You & I コンサート」にもお母さんと毎回きてくれます。)



が歩いて来ました。何となく様子で分かりましたが、私は信号を向こう側へ渡ってしまいました。何となく気になっていたのに向こうの道を見たら、何とH子さんが向こうで手を振っているのです。私も大きく手を振り返りました。マスクして帽子をかぶっている私、ましてあんなに離れていたのによくわかったなと思いました。

同じ日の夕食時に、夫のところにK君(軽い知的障がいがある30歳の人で夫がボランティアをしている作業所で仲良くしている人。「You & I コンサート」に毎回きてくれます)から電話があり「岡田さん元気? あいたいよー、、、」と。

コロナ・ウクライナ・安倍元首相銃撃事件と騒がしい今日この頃、H子さんK君のことは何とも言えない暖かいつながりを感じたことでした。

これからもお二人は一步一步成長され、暖かく「みんな いっしょ」に交わり・つながっていくような社会にと願っています。

(完)

“To acknowledge the duty that accompanies every rights”



(7月実績)

例会出席者	12名	在籍会員数	16名
メンバー	11名	月間出席者	11名
ビジター	1名	メーキャップ	1名
ゲスト	0名	月間出席率	75%
各種記録	当月実績	年度累計	
スマイル	11,000円	11,000円	

## 《例会報告》

## 7月度本例会報告

今城 宏子

日時:2022年7月22日(金) 17時~

会場:かけはし都筑

出席:相賀昇、今城H・T 大野君枝 岡田美和  
鴨下純久 鈴木K・S 辻Ta・Ts 横田孝久

ビジター:小松仲史湘南・沖縄部部长

司会:辻 剛 受付・報告:今城宏子

1. 開会点鐘:辻剛直前会長
2. ワイズソング・ワイズの信条:一同唱和
3. 今月の聖句・祈祷:相賀昇チャプレン「見よ、私はこの都に、いやしと治癒と回復をもたらし、彼らをいやして まことの平和を豊かに示す」が読まれ、祈祷をいただいた。
4. ゲスト・ビジター紹介:辻剛直前会長により小松仲史部長の紹介があり、部長の立ち合いの下、会長引継ぎ・役員就任式を行った。辻剛直前会長から今城高之新会長にバッチを装着。
5. 新会長挨拶:急遽、会長の任に当たることになったため不行き届きも多くご迷惑をお詫びする。主題は文書にて送付済みの通り「楽しく、何はさておき楽しく!」皆で楽しめるクラブ作りを目指したい。しかし、コロナの感染拡大が7波に突入で、9月、10月の例会が持てるのか分からない。まずは2名の新入会の方達には楽しい経験をして頂けるようみんなで知恵を絞りたい。YMCAへの奉仕を堅持しつつ、良いプログラムを続け新しいことにも挑戦していきたい。語り合いの良い実りを求めたい。
6. 2022-23年度第1回クラブ総会  
議長:今城高之会長  
既に7月の事務例会で基本合意があった議題故、指摘に基づきを訂正した資料に基づいて行われた。
  - 1) 2021-22年度活動報告・決算報告について:辻剛直前会長・横田孝久会計により報告。決算報告については、辻孝子会計監査から報告を受け、承認された。
  - 2) 2022-23年度会長主題・活動方針案について:今城高之会長から説明を受け、承認された。
  - 3) 22-23年度年間行事計画案について:今城会長より未定の行事については決まり次第追加するとの説明あり、原案が承認された。
  - 4) 2022-23年度収支予算について:横田会計から改訂版の説明を受け、承認された。
7. 小松仲史湘南・沖縄部長ご挨拶  
自己紹介(名前の由来、座間に居住の意味、経営しておられる会社、厚木クラブに加入した顛末等)

ワイズメンズクラブに入り、区大会に参加して、理念のもとに集まってYMCAを支えていこうという「思い」、「活動」に感動した。一番の利点は人の輪が広がること。職業関係なく人間そのものと、お付き合いができる。「YMCAに尽くそう」を大切に若い人々へのアプローチを模索し、入りたくなるようなことができないか考えている。チャリティーランは良いきっかけ。広がっていくように皆に声をかけて盛りあげていきたい。皆様のご協力を頂きたい!

質問に答えて:趣味はトランペット。15歳から始め元気の源かも!「第九」に挑戦中!

8. YMCA報告:鴨下北Y館長  
委員研修会:8月20日(ZOOM)  
第29回AIDS文化フォーラム:8月5日(金)~7日(日)10時~17時半 オンラインあり。  
YOU & コンサート支援金を要請中。  
北Yまつり実施予定:11月3日 コロナ状況により、規模等の変更あり。
9. Happy Birthday  
11日:岡田美和さん 12日:杉本千津子さん  
17日:坂口直樹さん 31日:今城高之さん
10. アピール他:ボランティア分科会報告(岡田美和さん) 災ボラ都筑まつり出店(横田孝久さん) 個人消息(お休みの方々について)
11. スマイル:それぞれ近況報告など。  
大野君枝さん初スピーチ!
12. 閉会点鐘:今城高之会長



小松湘南・沖縄部長(写真右)を迎えて就任式に臨むつづきクラブ新役員たち。写真左より、辻剛直前会長、横田孝久会計、今城高之会長、岡田美和書記

横浜つづきクラブ 辻 剛 様

7月の誕生カード ありがとうございます。

折り紙のアサガオと葉っぱとてもかわいらしくてもらった子どもたちはとても喜んでいました。

私たちも 折り方を教えていただきたいねと話していたところです。

にこにこ笑顔の誕生児の写真を添付します。

夏の暑さはこれから益々厳しくなります。

お体にお気をつけてお過ごしください。

つばめの杜保育所

作間 美由記

**私**達つづきクラブでは、2011年の東日本大震災直後より仙台YMCA、仙台青葉城クラブなどのご協力の下、津波の被害が著しかった亘理郡山元町の高齢者施設と保育所に対して支援を続けて参りました。これまでは毎年、現地を訪問して両施設のお誕生会などに参加させて頂くなど交わりを続けてきましたが、コロナ禍となりそれもできなくなってしまいました。それからは、毎月、TKB (Tsuzuki Kawaii Bachans) のお仕事会でベースカードを作ってお送りしています。

このたび、そんな施設の一つである「つばめの杜保育所」より先生のお手紙と共に可愛い写真が届きました。

私達がお送りしたカードを手にしての可愛い笑顔に癒されます。本当に細やかな支援ではありますが、続けてきてよかったと心から喜べる瞬間です。震災から11年が経ちますが、被災地はまだまだ、復興の途上と伺います。これからも、被災地のことを忘れないよう、どんな形であれご支援を続けたいと思っています。



## 2022-23年度 湘南・沖縄部 第1回評議会 報告

日時：2022年7月23日（土）15:00-17:00  
会場：湘南とつかYMCA及びZoomによるハイブリッド方式  
出席者：会場11名、Zoom 11名、委任状6名  
計28名（定員28名・役職兼務調整）  
監事 1名。

◆当クラブ出席者：今城会長、横田会計、辻エクステンション委員会委員長（ZOOM）  
鈴木ユース事業主査（対面）

◆会議は板崎 部書記の司会のもとに進められ、部長の開会点鐘、出席者によるワイズの信条、阿部 部担当主事による聖書朗読・開会祈祷、小松部長からの新年度に当ってのご挨拶がありました。次いで、小松部長の議長のもとで議事に入り、次の諸議案が決議、承認されました。

第1号議案 2021-22年度事業報告  
……若木一美直前部長

第2号議案 2021-22年度会計決算報告  
……岡 進直前部会計

第3号議案 2022-23年度行事予定  
……小松仲史部長

第4号議案 2022-23年度個別行事について  
……小松仲史部長

第5号議案 2022-23年度会計予算案  
……日下部美幸部会計

第6号議案 次々期年度部長の選出について  
……小松仲史部長

第7号議案 エクステンション委員会、委員長、各委員の任期延長の件……辻 剛エクステンション  
委員会委員長

◆第4号議案の個別行事予定では、湘南・沖縄部の部大会を2022年10月22日（土）15:00-17:00に湘南とつかYMCAで開催し、日本市民安全学会副会長・理事の富田俊彦氏より、「あさま山荘事件」に関する講演をお願いすることが決議されました。  
（次頁へ続く）

“To acknowledge the duty that accompanies every rights”

(前頁より続く)

◆第5号議案の2022-23年度会計予算では、2021-22年度に鎌倉クラブ宛にCS活動支援金として支出した30,000円が、対象とされた「こどもサッカー大会」がコロナ感染対策のため中止となったことから、今期になって部に返戻されたが、これを雑収入及び予備費で処理することが承認されました。

◆第6号議案の次々期年度部長選出に関して、当該年度の部長はBグループ（厚木・横浜つづき・横浜つるみ）からの選出となるが、同グループの合意に基づき横浜つるみクラブの久保勝昭ワイズが推薦され、2024-25年度の部長として選考することが決議されました。

◆第7号議案のエクステンション委員会の任期延長の件については、東日本区自体の“Change!2022キャンペーン

“延長問題が未確定の現段階では、当初予定通り2022年12月末で区切りをつける方が良いのではないかという意見も出されましたが、湘南・沖縄部エクステンション委員会における2クラブ設立準備活動がコロナの影響により遅ればせながらも前進しつつある状況に鑑み、小松部長任期の2023年6月末まで延長することが承認されました。

◆報告・連絡のセッションでは板崎部書記より、現在エクステンション委員会が目指している「YMCAかわさき保育園」を母体とした新クラブ設立構想に関連して、同保育園の子どもたちや卒園児、そのご家族が気軽に集まって本を読んだり、お話をする居場所作りを計画しているため、ワイズ会員に居場所の運営協力、乳幼児向け絵本の寄付、川崎地域在住・在勤のワイズ会員の紹介等の依頼がありました。

◆最後に峯尾監事の講評を経て、評議会が終了。

(鈴木 茂 記)

## 北 Y 便利

横浜北YMCA 館長 鴨下 純久



6月月末に猛暑が続き、豪雨や雷雨、大きな台風が心配だと感じていましたが、至る所で大雨が雨発生しているようです。しばらく猛暑が続くようですので、安全を最優先に考えて、行動するようにしたいと思います。

さて、今夏は感染症対策を万全にして、富士山YMCAと三浦YMCAを中心にサマーキャンプを実施しています。キャンプの申込者も多く、キャンプへの期待を改めて感じています。すでに報告しましたが、6月には1泊2日で三浦YMCAにおいて、ファミリーキャンプを実施し、13家族、36名の

る『子どもの頃の「体験」は未来の社会を担う子どもたちの健やかな成長を確かなものとし、体験活動（自然体験、社会体験、文化的体験）などの経験は、長期間経過し



ても、その後の成長に良い影響を与える。』ということは、サマーキャンプにもファミリーキャンプにも当てはまると思います。横浜北YMCAでは、「ファミリーキャンプ第2段」と「大人のための海のキャンプ」を9月に三浦YMCAで実施予定です。マリンプログラムを満喫し、心と身体のリフレッシュしてはいかがでしょうか。都合のつく方は、ご家族やお孫さんとファミリーキャンプへ、お仲間と大人のキャンプへ参加していただければと思います。

コロナ禍になってから、様々な制限が掛かることがありますが、これからも安全で有意義な活動を継続していきたいです。

(完)



方々に参加をいただきました。横浜北YMCA独自でファミリーキャンプを実施する試みは初めてのことですが、申し込み開始日より3日目まで定員に達するほど、人気が高いものでした。ファミリーキャンプでは、家族の絆が深まったり、家族皆さんの笑顔が増えたり、お子様のたくましさややさしさを発見したりすることも魅力の一つだと感じています。文部科学省から青少年の体験活動に関する調査結果にあ



新たなワイズ年度を迎え、我々のクラブのみならず、我々が所属する「ワイズメンズクラブ国際協会東日本区」でも新理事に佐藤重良ワイズを迎え新たな船出をいたしました。ここに東日本区のwebサイトから佐藤理事の理事就任挨拶と自己紹介文を転載いたします。

### 《佐藤理事ご挨拶》

この度 東日本区の理事を拝命させていただきました、あずさ部・甲府 21 クラブの佐藤重良です。皆様のご協力とご支援をいただきながら、ワイズダムのために一生懸命奉仕させていただき所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

◇今年11月15日はワイズメンズクラブ国際協会設立100周年にあたります。大いにお祝いをしましょう。又先人が築いた素晴らしい貴重な遺産から多くを学び、これからの未来の100年に向けてスタートに立ちます。現在今まで経験のしたことのない、コロナの問題、そして今年の2月24日突然の戦争が勃発し、悲惨な状況が続いております。戦争をすぐに停戦し、コロナ禍も終焉し、平和を願うものです。

◇ワイズメンズクラブ東日本区の中にも、多くの課題を抱えております。ワイズメンズクラブの認知度が低く、毎年平均20人会員が減少していて、これに歯止めがかからない状況が続いております。今年も引き続き Change!2022 の活動を柱に会員増強に、最重要課題として取り組ましよう。コロナ禍が終息の兆しが見えて来たようにも見えます。ニューノーマル（新しい日常）に対応する地域に合った（今まで実施してきた）奉仕活動を見直し、改善できるものは改善し活動しましょう。

◇国際協会のあたらしい制度、iGo の募集が始まりました。詳細をご紹介します。これからの若い人のために支援してゆきましょう。

◇先般国際協会から、2022～2032までの10年間の青写真として「Strategy2032」が示されました。東西日本区合同翻訳・通訳グループの御奉仕により翻訳していただきました是非ご覧ください。長期計画の趣旨を踏まえていただき、今後の活動方針等に取り入れて活用してください。東日本区として、今後どのように取組んでゆかについて、皆さんと協議しながら進めたいと思っております。

佐藤 重良（さとうしげよし）

1941年10月12日、秋田県大館市生まれ。大手総合建設会社に勤務。2014年12月に甲府21ワイズメンズクラブに入会。

2017年2018年期にはクラブ会長を経験。クラブ30周年実行委員長を務め、クラブCS活動として特に地域に根ざした「大根」「トウモロコシ」「ジャガイモ」などをYMCAの子どもたちと育てています。今年自分の背丈より大きくなったトウモロコシ畑で、子どもたちと一緒に活動しましたが、それはもう大喜び。汗だくになりながら、この子たちの未来を担保してあげたい、と意を固めました。2022年-2023年東日本区理事を拝命。

◇趣味 園芸・菜園

“To acknowledge the duty that accompanies every rights”

### 《ワイズメンズクラブ国際協会について》

国際協会のモットーは、会員の皆さんなら誰でもご存じのワイズの信条第4項にある、「義務を果たしてこそ権利が生じることをさとうろ」、英語では、“To acknowledge the duty that accompanies every right”です。

また、新たな年度に入り、国際協会会長、地域会長がそれぞれ主題やスローガンを発表しており、それらを知ることによりリーダーたちが、それぞれの組織をどのように運営して行こうとしているかを知ることが出来ます。

今年度の国際会長、インドの K・C・サミュエル氏の主題は “Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT” 「フェロシップとインパクトで次の100年へ」であり、更に、スローガンとして “BEYOND SELF and

BE THE CHANGE” 「自己を超えて、変化を起こそう」を掲げています。また、アジア太平洋地域会長で台湾出身のシェン・チ・ミン氏は、主題として “Elegantly Change with New Era” 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」、スローガンは “Doing It Right Now” 「今すぐ実行を」としております。

これを見て感じるの、我々の所属する国際協会の新しいリーダー達は、何れも、この難しい時代に立ち向かって乗り切るためには変化が必要であると訴えていることが分かります。変化を求める気持ちは私達も同じと言えますが、我々のクラブに相応しい方法での変革をクラブの皆さんと共に模索して行きたいと願っています。（今城T 記）

《連載寄稿》

恥ずかしのワイン蘊蓄 ~11~

横田 孝久

皆さん如何お過ごしですか。特に今年は格別の夏のようで、湿気が多くて空気が重く倦怠感の塊のようです。そんな中、飽きもせず毎晩チビチビとやっています。よく友達や知人から質問があります、それは、フランス・ワインではボルドーですか、ブルゴーニュですか、どちらが好みですか？。小生としては本当に素人で蘊蓄なんて言えないのですが、最近特に家飲みではボルドーワインを飲んでいますが、ボルドーワインは今までも述べてきたように、種々の葡萄の組み合わせ（ブレンド）でそれぞれの味があって楽しく飲み比べができて、価格的にも手ごろなものも沢山あります。しかし、将来・・・チャンスがあればやはりブルゴーニュに行きつくべきかなと、思っていますし、夢です。こんな意見はまったく危険極まりありません。人それぞれで、ちゃんと作られたものは本当に美味しい、これぞワインと皆が勝手に言い合っ



て楽しむこれが最高です。酒に関しては平等主義・博愛主義のほうがはるかに楽しい。ボルドーを飲み続けるとブルゴーニュの華麗さが恋しくなるし、ブルゴーニュをしばらく飲むとボルドーの柔らかみが欲しくなる。しかも、ロワールもあればアルザスもある。どれもこれも捨てがたいものです。その日の気分、その日の食べ物に合わせて、好きなものを選びたい。変な飲まず嫌いより多情多飲、これこそワインの楽しみではないでしょうか。

今月は少しブルゴーニュについて述べたいと思います。ブルゴーニュは何よりもまずパリに近い、ブルゴーニュワインの都ボーマまではパリから列車や車で2～3時間でいけることです。さらに、フランス広しといえど、料理が最高です。もともと食の都、食い倒れの町リヨンをひかえているブルゴーニュ地方では、山あり谷ありのためフランス人が好きなジビエ料理（鹿やうずらやハト）のほか、シャロレの牛やフォアグラ

（肥大肝臓）やカタツムリなど少し普段ないようなものがあります。そして、ボルドーとは異なって南北50キロ余り、幅は広いところで2キロ、狭いところでは100Mというひと続きの細長い丘陵地帯に約20を超すAOCワインを産する村々がひしめいています。ブオーヌ・ロマネやポマルなどワイン好きなら一度は聞いたことがある村があるといえる地域です。もともと比較的平坦なボルドーに比べて、ブルゴーニュの葡萄畑は標高200～400メートルの斜面にあつて機械化しにくい、さらにブルゴーニュの品種ピノ・ノワールは生産性が低く手間がかかるそうで、気候的にも大陸性の厳しいもので春は霜が降りやすいので人的要因が大きいこともあってボルドーより価格も高いと思います。

今月はシャンベルタンの名を付してジュブレ・シャンベルタンという村で造られているワインについて少し蘊蓄です。村名もののジュブレ・シャンベルタンはジュブレと略さなければいけないそうです。うっかりレストランでジュブレのつもりでシャンベルタンと言ってしまうと、ものすごい事になります。お勘定の時にはとびぬけて腰をぬかすことになります。しかも、なかなかレストランでジュブレはあつてもシャンベルタンを置いている店はすくないようです。そのジュブレは濃い色合いに深みがある香りと重厚な味が特徴です。最近フランスでも軽い口当たりで早く飲めるワインがもてはやされていますが、時流に媚びず頑固なまでに自己主張する、生産者の努力を楽しみたいと思っています。

今月はこれくらいで、次号はブルゴーニュの小生が経験したワインについて少し説明をさせていただこうかと考えています。しかし、今宵もボルドーの安いワインを飲んでいました。真夏の蒸し暑い中、少しエアコンをきかせて、チーズを片手に失礼します。（2022.8）

“To acknowledge the duty that accompanies every rights”



（編集子）

・・・編集後記・・・  
 ▽このところの異常気候により、あちらこちらから豪雨被害が聞こえます。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます▽コロナ前であれば、8月は交流のある地域の団体の方々もお招きして納涼会など催したものです。今は何も出来ないことが残念至極です▽そんな中、山元町の子どもたちからのバースデーカードに対するお礼の便りが届き、嬉しそうなお顔の写真に癒されます▽北Y M C Aからは、コロナにも負けず、海を楽しんでいるキャンプの便りが届きました。嬉しいことです▽横田ワイズのワインの蘊蓄は回を重ね今回で十一回目の連載となりました。「好きこそもの上手なれ」という格言を思い起こします▽我々のクラブの大イベントであるYou & Iコンサートが11月12日に計画されています。コロナが治まることを願いつつ準備を始めて参ります。都筑区社会福祉協議会からの支援も決まりました。感謝です！